

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

昭和

11

NOVEMBER
1997



特集 共済事業統合先進地を視察して

No.493



季節の香

かおり

【カキ／柿】

柿の木が朱色の実をたわわにつけ、すっかり葉を落としてしまった。柿の実に夕日が跳ねて鮮やかな赤を強調している。有田の陶工柿右衛門が執念を燃やしたあの朱色である。

残り少ない暦が、今年の作業の終りを急かせて慌しい数日を送ったと、そんな感想をボソリと呟き、農夫はトラックを動かして帰って行く。あとには薄暗くなつた田の畦に、大きく枝を張った柿の木の影が浮かび出る。

皮を剥いて、干し柿を作り始めた祖母がお前も手伝えという。辺りに甘さと渋さの入り混じった匂いが漂う。これが白く粉を吹いた干し柿になるのは大分先のことになる。

COLUMN

歌のない歌謡曲

◆テレビが普及するずっと以前の
こと。ラジオ放送に「三つの歌」
というクイズ形式の歌番組があっ
た。前奏を聞いて曲名を推理し、
歌詞をどれだけ知っているかテス
トされるが、軽やかな司会者のお
喋りと共に人気を得ていた。童謡
／民謡／流行歌と様々なジャンルの
古い歌や新しい歌が出題対象と
なり、どれ位の歌詞を記憶してい
るかを試される。出演者と一緒
に一喜一憂して楽しんで遊べる所はテ
レビのパラエティー番組に似てい
る。ラジオが家庭団欒の中心的な
存在だった頃のことである。

◆のど自慢もその頃から始まった

もので、今も延々と続いている長
寿番組である。現在のそれは、何
度かの予選を通過した人達ばかり
で歌の上手な人が多いが、以前は
すべての出場者が対象だったから、
カネ一つで退場する人が続出した
ものだ。歌が上手な上に会場を沸
かせた人がカネを連打させたよう
でもあった。最近では、カラオケの
普及で聞いていて惚れ惚れする素
人が増えたように、歌唱力はプロ
の歌手よりも勝るように思える言
い人が多い。

◆歌のない歌謡曲という番組があっ
たが、知っている曲がでると、そ
れに合わせて唄う楽しさは今のカ
ラオケと同じ趣向である。爆発的
にヒットした歌謡曲は誰もが知っ
ていた。そして口ずさんだ。嬉し
い時も悲しい時にも音楽は心の励
みとなり、明るい勇気を奮いたた
せてくれるように思う。

◆歩きながらCDを聞くことが流
行のようである。あてがい扶持の
放送よりも自分の好きな演奏を選
んで聞いているらしい。小さなイ
ヤホンから勢い余った音が漏れ
ている。リズムに合わせて小刻み
に身体を揺すり、個人的世界にド
ップリと浸っているのである。時
にはクラシック曲が漏れている事
もあって、おやつと感心するが、小
型化された機材が新しい芸術文化
の創造に役立っているようでもあ
る。

(遊方子)

スピードのある風景(大山にて)

スピードをあげて飛ばすと、悔しいこ
とも腹立たしい怒りも、きれいに無に返
る。鬱々とした悩みも、何処かに吹き飛
んで行き、震えるような快感に浸れるん
だと若者が言う。

林の中を風のように突っ切るのも爽快
だが、ゆっくりと自然に触れることも考
えたいもの。よく見れば秋草が咲き、ス
スキの穂がお辞儀している。

ブナ原生林が続く国立公園。曲線をえ
がいて自動車道路が延びる。豊かな景色
が後ろへ飛び去っていく。クルマ主導の
ような社会だけれど、セーフティドライ
ブこそ理想の形だ。清冽さを増した空の
色に秋の深まりを感じる。

拓水 NOVEMBER CONTENTS

季節の香	2
カキ／柿	
COLUMN	3
歌のない歌謡曲	
特集	4
共済事業統合先進地を視察して 北淡町四ヶ浦漁協連合会	
ズーム	6
『明石浦支店』オープン！ 兵庫県信漁連 漁協信用部門の統合モデル第1号	
水試ノート	7
標識放流よもやま話 兵庫県立水産試験場 主任研究員 大谷 徹也	
栽培漁業センターです 普及員だより	8
漁業士交流会を開催！	
漁海況情報 海区漁業調整だより	9
旬の美味しい話	10
イワシのロールキャベツ・きのこソース煮込み	
兵庫JCC通信	
JAは今年50周年 生協と行政との連携がすすむ “近畿地区生協・行政合同会議”	
TAKUSUI promenade	11
ぶらり探訪 布引ハーブ園	
こちら海ですロケだより	
カルシュウムたっぷり!!練り製品 ～兵庫県浜坂町・香住町より～	

今月の表紙

フォトギャラリー



表紙写真
星尾 国広さん
〈県漁青連〉

フォト歳時記

スピードのある風景(大山にて)

スピードをあげて飛ばすと、悔しいこ
とも腹立たしい怒りも、きれいに無に返
る。鬱々とした悩みも、何処かに吹き飛
んで行き、震えるような快感に浸れるん
だと若者が言う。

林の中を風のように突っ切るのも爽快
だが、ゆっくりと自然に触れることも考
えたいもの。よく見れば秋草が咲き、ス
スキの穂がお辞儀している。

ブナ原生林が続く国立公園。曲線をえ
がいて自動車道路が延びる。豊かな景色
が後ろへ飛び去っていく。クルマ主導の
ような社会だけれど、セーフティドライ
ブこそ理想の形だ。清冽さを増した空の
色に秋の深まりを感じる。

特集

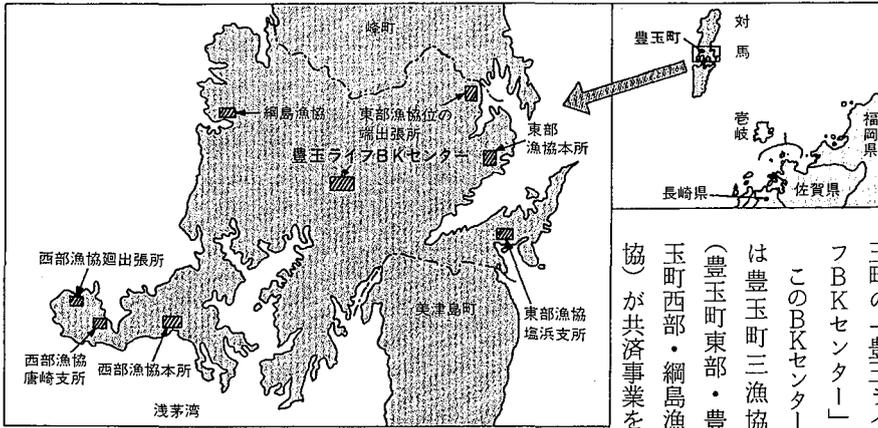
共済事業統合

先進地を視察して

北淡町四ヶ浦漁協連合会

北淡町四ヶ浦漁協連合会は、去る九月四日から六日までの日程により視察研修を行いました。研修先は長崎県下県郡豊

玉町の「豊玉ライフBKセンター」このBKセンターは豊玉町三漁協（豊玉町東部・豊玉町西部・網島漁協）が共済事業を



研修先の位置概念図

統合して事務所を持つというもので、単長性／収益性の高い共済事業を統合することによって、より強固な事業体として各組合並びに組合員の経営基盤の強化に努めているという、先進地ということでした。

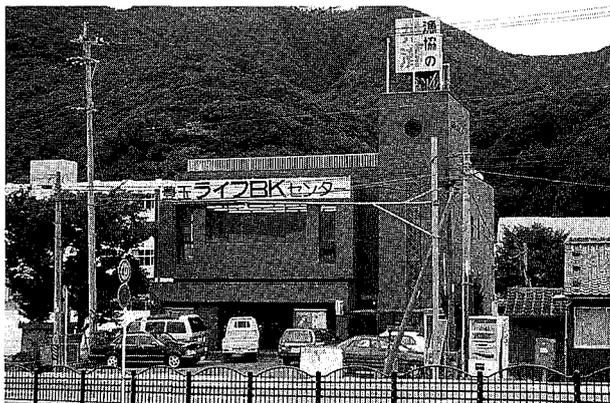
近年の漁業を取り巻く環境はますます厳しく、特に水産資源の減少による漁獲高の低下は顕著なものがああります。こうした状況のもとで漁家の生活を保障し漁協の経営基盤を支えるためには、共済事業の普及拡大が不可欠でありながら、生保／農協／簡保など保険業界との鎗（しのぎ）を削る競争の時代と言えます。対馬における先進地の実態を見聞することで、共済事業をはじめ漁協収益事業の将来に向けて健全な発展を図るための方策を視察研修するのが今回の目的です。これに参加したのは富島・浅野浦・育波浦・室津浦漁協の各組合長と参事／事務長で共水連兵庫事務所から二名が随行し総勢十名の視察研修となりました。

私たちが訪れた対馬は、昔、日本が大陸との交流を行った際の中継基地として栄えた島であり、全島合わせて約七百平

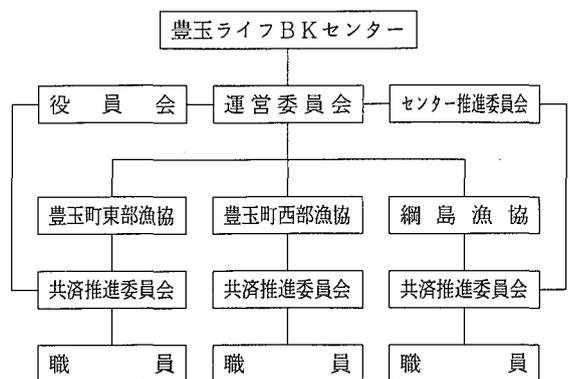
方キロ。その九割が山地で海岸は殆どが岩礁に覆われ砂浜は見当たりませんが、天然の入り江が良港となってイカの本釣り、定置漁業、養殖漁業、潜水漁業が盛んなところ。人口約四万四千人。人口流出による過疎化が著しく、将来に不安を抱く深刻な状況にあるということでした。

長崎県は、いち早く信用事業の統合に踏み切り、共済事業においても統合が進められ、組合合併にも前向きに取り組んでいることから、本県行政よりも一歩前進しているように見受けられました。

「豊玉ライフBKセンター」は、平成二年四月に対馬統合信用事業が県レベルに再編されたあと、空白となった事務所



豊玉ライフBKセンター



豊玉ライフBKセンターの組織機構図

の有効利用を考えて、豊玉町三漁協が組合並びに組合員の経営基盤強化のため漁協事業の中でも単長性・収益性の高い共済事業を統合し事業体を大きく強固にして行うこととし、協議検討を重ねた結果、各組合一名ずつの職員を向させ、センター職員一名と共に事務所を開設したものです。（BKは信用事業のBANKの略）

その運営方法は、運営委員会規程・共済推進委員会規程を制定し、それぞれ委員会が組織されており、運営委員会は三漁協の組合長と主任者等の職員、相談役として共水連対馬支所長の十名で構成されています。また推進委員会は三漁協からの十九名で構成し推進に取り組みんでいます。財産および収支は組合員数に関係なく三分ということでした。（図参照）

統合後の効果点と問題点については次のことが考えられます。

〔効果点〕

- (1) 組合員はもとより員外者の漁協利用増加が図られる。
- (2) 各地区の推進員から情報が提供され、早く対応が可能となる。

- (3) 生保・農協・簡保との競争力がつく。
- (4) 組合員意識の変化により組合への集中が可能となる。

- (5) 恒常推進、集中推進の反復により、対話と信頼が生まれる。

- (6) 漁協間の役職員の親睦対話が深まり、お互いの利点欠点が判る。

- (7) 役職員の事業推進意欲が高揚する。
- (8) 他部門事業の牽引役となり全般事業の向上が図れる。

- (9) 生保・農協・簡保活動の牽制にも繋がる。

〔問題点〕

- (1) 組合員の高齢化と後継者の減少により、今後の加入見込みの減少対策をどうするか。

- (2) 役員、推進員、センター職員の前向き姿勢の維持をどうするか。

- (3) 生保・農協・簡保の新商品開発への追隨。

- (4) 役職員の共済事業知識の欠如に対する教育。

- (5) 普及率の向上後の事業収支の維持確保をどうするか。

- (1) また、将来展望としては、漁業環境が大変厳しく加えて経済不

統合 3 組合の概要

(平成 9 年 3 月 31 日現在)

項目	豊玉町東部漁協	豊玉町西部漁協	網島漁協
組合員数	377名(正226 准151)	309名(正297 准12)	152名(正152 准0)
役員数	15名(理事12 監事3)	16名(理事12 監事4)	10名(理事7 監事3)
職員数	14名(男9 女5)	10名(男8 女2)	5名(男4 女1)
販売取扱高	2,222,230千円	771,790千円	344,820千円
購買取扱高	256,520千円	126,620千円	32,950千円
貯金保有高	1,613,720千円	1,162,520千円	407,800千円
貸付金	1,237,380千円	809,820千円	121,760千円
主幹漁業	イカー本釣、魚類養殖、定置漁業	イカー本釣、魚類養殖、定置漁業	イカー本釣、定置漁業

- (3) 保有高二百億円の達成を目指し長期拡大と組合経営の安定を図る。
- (2) 既存契約を見直し、民間商品からの呼び戻しを徹底することで共済事業の拡大と組合経営の安定を図る。

況の続くなかにあって、これからの漁協経営の安定向上を図るためには、水連と一体となって生保・農協・簡保を凌ぐ商品開発と、漁協組合職員一丸となって共済事業の推進を図らなければならない。そのため共済事業に対する関心と知識は不可欠である。

「豊玉ライフBKセンター」の業績推移においては、統合後の五年間は推進開拓の余地があり約三倍の実績をあげ急速な伸長をみせています。これ以上の加入率向上には難しいものがあるようですが、職員が一丸となって保有額二百億円を目標に邁進する姿に敬服させられます。特筆すべきは、漁協役員や選出された推進員の熱心なことで、共済のノウハウを会



- 安定を図る。
- (4) 信用事業、共済事業のみならず漁協合併を積極的に推進する必要がある。
- (5) 共済推進組織を拡大し、員外、民間まで活動を広め、より大きな事業拡大を図る。

熱心に研修する視察メンバー

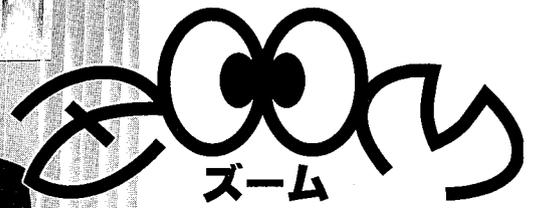
得し自らが組合員の家庭訪問を行って、加入獲得の努力をしていることでした。そして漁業の将来を憂慮しつつも、総合事業体である漁協のそれぞれの事業を生かすことで、組合運営の安定化を図ろうとする努力が見られたことでした。

私たちの漁協においても、組合員並びに役職員が謙虚な姿勢で漁協事業を見つめれば、共済事業だけを取り挙げて、まだまだ推進の余地が十分にあり事業拡張を図ることは容易なことではなからうかと思われます。そのためには、

- (1) 組合と組合員にとって共済事業は必要不可欠であること(啓蒙活動)
- (2) 役職員の共済知識の習得などに一丸となって取り組む(教育活動)
- (3) 組合経営における共済事業の確立と位置付け(経営能力)
- (4) 新規商品の開発および内容の見直し 民間生保/損保に対しての優位性の確保(商品開発)
- (5) 積極的な契約獲得に向けての勧誘運動の展開(推進運動)

などが考えられます。各漁協において共済事業の現状を見直し、組合単位におけるある程度の基準を確立した後に事業統合あるいは組合合併に進む方法を模索するのも一つの考え方ではないでしょうか。

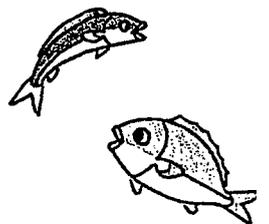




『明石浦支店』オープン!

兵庫県信漁連

漁協信用部門の統合モデル第一号



左から松本専務・小松組合長・木下会長・秋武課長・堀川所長

平成九年十月一日、本県の信用事業統合（一県一信用事業統合体）のモデル一

号店として、明石浦支店（明石市岬町

明石浦漁協内）がオープンしました。

当日は、秋武県水産課長並びに堀川農

林中央金庫神戸事務所長を迎え、信漁連

からは木下会長・松本専務が出席、組合

から小松組合長をはじめ担当理事・婦人

部役員の出席を得てオープニングセレモ

ニーを挙行しました。木下会長は、「本

日は私たち漁協系統にとりまして歴史に

残る記念すべき日となりました。激動す

る金融環境に対応するため取り組んだ一

県一信に対し、いち早くその重要性を認

識され、モデル店舗としての参加を英断

されました明石浦漁協役員の皆様にお

より感謝いたします。今後は信用事業統

合のリーダーとして頑張ってください

木下



挨拶する木下会長

挨拶する小松組合長



い」と挨拶し、小松組合長は「信漁連と

組合が一体となって組合員のための信用

事業はどうあるべきか検討した結果が、

今回の信用事業統合となりました。今後

ますます組合員へのサービスに努めてま

いりますが、組合員及び婦人部の皆様

にもこれまで以上にご利用をいただき、明

石浦支店の充実を図りたいと考えます」

と挨拶をされました。

来賓祝辞、関係者によるテープカット

の後、明石浦漁協からの出向職員八名に

辞令が交付されました。同支店では早々

に懸賞品付き定期預金を一斉に売り出す

漁船海難遺児育英会募金状況（9月～）

- 9月22日 洲本漁協（募金箱）様
- 9月24日 津居山港漁協 岩井 忠行様
津居山港漁協 丸谷美佐恵様
- 9月25日 津居山港漁協 職員有志一同様
- 9月30日 新鮮日本海お魚まつり実行委員会
（但馬地区漁協協議会）様



☆善意をありがとうございました☆

とともに、十月十六日からATM（現金自動預払機）を新設スタートいたします。出向職員は次のとおり。

竹中 稔（支店長）、藤原祐一郎・橘 和男・土井 道子・専齋美栄子・穂原 志穂・畑中あゆみ・久保 君香

なお、統合の全体スケジュールについては、十一月四日には津居山支店・香住加工支店がオープンし、来年以降も順次オープンする予定となっています。

（兵庫県信用漁業協同組合連合会統合対策課）

水産資源の調査研究手法の一つに、標識放流があります。皆さんの中にも、タグの付いたヒラメを捕まえて、「面倒やなあ」と思いつつ報告して下さった方、逆に「まあええか。」と無かった事にしてしまわれた方などいらっしゃるかもしれません。前者の方にはお礼の意味を、後者の方や標識魚に巡り会っていない方には今後のお願いの意味をこめて、今回は標識放流の話をしてみたいと思います。

標識放流を調査研究のため行う場合、目的は大きく二つに分けられます。一つは対象種の移動・分散範囲、回遊経路などを把握するため、ここでは個々の再捕位置と再捕日を知ることが目的です。標識手法としては、タグ(図1)を装着する場合があります。当海域ではスパゲティ型、アンカータグ型、ディスク型が普通に用いられています。また、クルマエビではリボン型、ハマチ等大型の魚ではダート型など、対象種の体形や行動生態に応じて様々なタグを用います。さらに、タグを引きちぎってしまうマダコでは焼印や入れ墨、ガザミでは甲らにペイントマーカーで記号番号を書き込むなど、発見されやすく、魚体への影響が少ない手法が工夫されています。

これらにより、播磨灘、大阪湾のマダイ当才魚の多くは友ヶ島水道、沼島、鳴門海峡周辺で越冬すること、播磨灘北部に放流したヒラメ当才魚は東向きに、ガザミは西向きに(越冬期)移動する傾向があること、鹿の瀬にかつて資源補給のため、天草より夏期に移殖放流したマダコの移動範囲は家島から佐野までであったことなど、多くの魚種で貴重な知見が得られ、資源管理等の施策に利用されています。経験的、間接的に語られる事が

多い魚介類の移動生態を、直接実証できることが、タグ等の外部標識を用いた標識放流の醍醐味と言えます。

その中でひとつ、近年の再捕報告の中では特筆すべき事例を紹介しましょう。東由良町漁協所属の唐渡氏が、平成八年二月二十六日に生石鼻(友ヶ島水道)の南約2km沖合で板曳網で漁獲した全長約三十五cmのヒラメには、ピンク色のスパゲティ型タグが二本付いており、タグには「SO931H692、H693」の印字がありました。通常、標識の記号には実施機関が識別できる様に、兵庫県なら「HG」、大阪府なら「OS」といった文字が含まれています。しかし「SO」は、県内の放流実績のある機関や、西日本各府県に該当するところがありません。隣接府県に問い合わせる中で浮かんできたのが静岡県。まさかと思いつつ同県水試に問い合わせたところ、平成七年二月十七日に駿河湾に面した坂井平田港で放流された天然魚と判りました。そして前年度にも全く同じパターンで和歌山県の田辺湾付近で再捕されていたのです(図2)。これらのヒラメは一年で四百〜四百五十kmの距離を移動したことになりました。全体の動きから見れば例外的とはいえ、駿河湾から紀伊水道付近への移動がかなりの頻度で行われている可能性を示唆する、ヒラメという魚に対する認識を新たにさせられる一件でした。

さて、標識放流を行うもう一つの目的は、再捕の状況から、種苗放流効果の把握、資源尾数や資源変動に関するパラメーター(漁獲率、生残率等)の推定を行うことです。

この場合は、目的とする情報は、個々のデータよりむしろトータルの再捕尾数の正確な値です。この場合は鱭の切除・抜去、種苗放流魚に特有の体色異常や鼻腔異常を標識と見なす、耳石や鱗を蛍光

標識放流よもやま話

兵庫県立水産試験場

主任研究員 大谷 徹也

色素で染色するなど、一見ただけでは天然魚と区別しにくい(できない)標識で、調査する側が漁獲物をできるだけのくさんチェックする手法がとられたことが多くなります。(もちろん、タグ方式でも、脱落や標識装着による死亡が少なく、報告率が高ければ同じ目的で使用できます。)こちらの目的では、種苗放流マダイの再捕尾数が明らかになっているほか、今年度からクルマエビの放流効果調査が始まっています。

近年の標識放流では、魚体への負担をかけないようタグを用いない場合が多くなっています。しかし、古典的な手法ともいえるタグ方式ですが、誰にでも判り易く、漁業者、遊漁者、市場関係者の皆さんから幅広く報告が得られるという何物にも代え難い利点を持っています。本年度、当場では目的を移動・回遊の把握に限定して、アナゴ、スズキ、クルマエビのタグ方式による標識放流を計画しています(表1)。

本来もう少しあってよい再捕報告が得られにくい原因として、報告が面倒、記

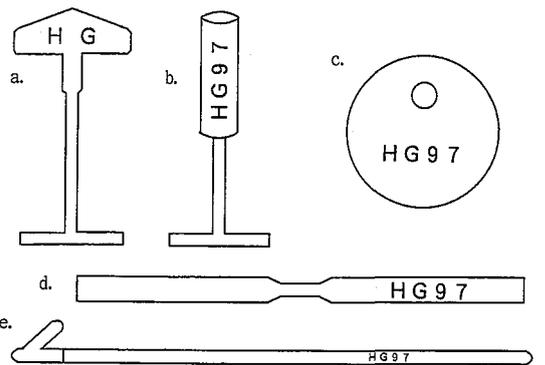


図1 各種のタグ

- a. アンカー型
- b. スパゲティ型
- c. ディスク型
- d. リボン型
- e. ダート型

魚種	標識	放流年月	放流場所
マアゴ	スパゲティ	H9.7~8	明石市二見地先
スズキ	リボン	H9.8~11	御津町地先
クルマエビ	リボン	H9.10	西淡町湊地先

念品が陳腐、マンネリ化、PR不足、といった点の他に、魚を売ってしまうからお考えの方がいるかもしれません。必要なのは標識と、①いつ②どこで③どんな魚を(魚種とサイズ)④どうやって(漁法)獲ったかという情報だけです。

前述のヒラメの件にしても、いつものやつかと報告されなければ得られなかった成果です。当方も、放流、再捕の情報を皆様に絶えず提供すること、目的意識のある標識放流を行うことを肝に銘じて、実施して参りますので、標識魚を発見された場合は、最寄りの漁協まで是非ご一報をお願い致します。

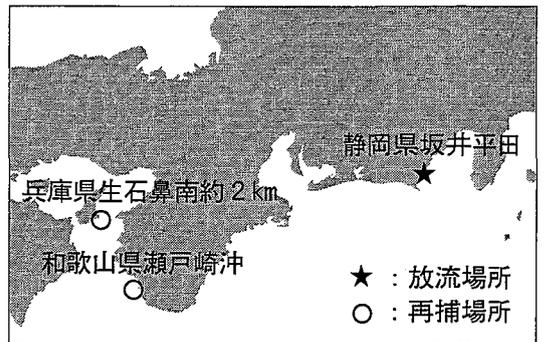
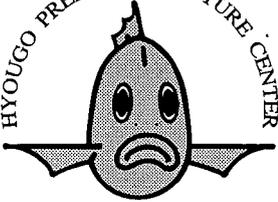


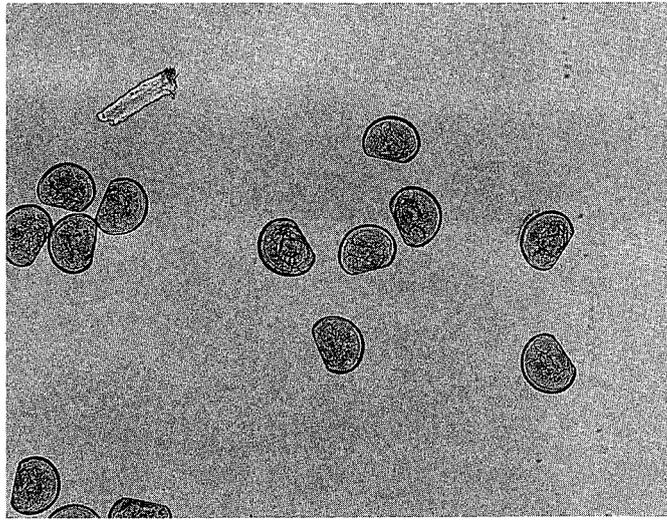
図2 標識ヒラメの長距離再捕事例

HYOGO PREF. MARICULTURE CENTER



栽培漁業センターです

110



アサリD型幼生 殻高100ミクロン

て空中中に十二時間放置した後、再び水中に戻し徐々に水温を上げていくのです。このような刺激を与えることでアサリは産卵・受精をします。産卵が始まると雌雄が分かりますので、卵と精子を別々に採り人工受精を行います。受精卵は翌日にはふ化し、D型幼生と呼ばれる浮遊幼生になり、植物プランクトンを摂餌するようになります。その後、アンボ期・フルグロン期と呼ばれる浮遊幼生期を経て約二十五日で親と同じように砂に潜り、水管と呼ばれる器官を出し植物プランクトンを取り込む生活へと移っていきます。順調に

いけば来年四月に殻長ニミリに達すると思います。今後の予定としては、十一月よりアカウニの試験生産を行う予定です。アカウニは淡路島南西海域では漁業者の方々からの要望が高く、私たちも小規模ながら一生涯生産を行っています。他の事業場の状況はといいますと、二見の栽培漁業センターでは、三〜五年後の採卵用親魚の養成を目標に当才魚の天然マダイ・天然ヒラメを購入し、餌付け飼育を試みています。また、メガイアワビ・アカウニの試験生産に備え波板の珪藻づけを行っています。施設については、種苗生産が一段落しているこの期間を利用してリフレッシュ工事が行われています。但馬栽培漁業センターでは、来年の種苗生産に向けて親魚の養成を行っています。貝類ではサザエが殻高二〜七ミリに成長し、現在も五十〜六十万個を平板飼育しています。また、十月二十日からはアワビの種苗生産を始める予定です。

(兵裁協 吉川 孝司)

朝夕めっきり冷え込んで、海面から朝もやの立つ季節となりました。山々の木々も色づき始めています。さて、津名事業場では九月二十四日に全長二十九ミリのクルマエビ種苗、約九十三万尾を関係各市町に配布し、本年度

のクルマエビ種苗生産事業を終了しました。現在は、アサリの試験生産を行っています。アサリの生産方法について少しお話ししますと、まず親貝に干出刺激と昇温刺激を同時に与えることで採卵を行います。つまり、アサリを一旦水から切って



漁業士交流会を開催!

去る8月27日、和歌山マリーナシティにおいて、和歌山・徳島・兵庫3県合同の漁業士交流会が開催されました。

この交流会には、漁業士24名、事務局13名が出席し、本県からは、指導漁業士2名、青年漁業士3名(それぞれ淡路地区のみ)、事務局2名が出席しました。

この交流会は、和歌山と徳島が従来から交流会を開催しており、本県(淡路地区)も和歌山、徳島とそれぞれ交流会を開催したことがきっかけとなり、また、3県の漁場が隣接しており、似通った操業形態で共通の問題点を抱えていることなどから実現したものです。

昨年は淡路島において第1回の交流会が開催され、毎年各県持ち回りで開催することになりました。

今回は、後継者問題、花嫁問題、流通、漁業の将来などのテーマについて、「今後ますます漁業での生計は苦しくなり、後継者は減少するだろう」、「適齢期の漁業者は女性に対し積極さが無い」、「魚を地元で卸した場合の値は京阪神向けの約半程度となってしまう」、また、地元で売れる数量が限られていることから、地元の店には地元の魚が並んでいない、「漁船や漁労設備が良くなりすぎ、乱獲によ

る資源の減少につながっている」等、活発な意見交換が行われました。

もちろん、いずれの問題もすぐに解決できるものではありませんが、漁業士の皆さんは将来漁協の中核ともなる方々であり、よりよい漁業を目指して今後ますますの活躍を期待しています。

洲本農林水産事務所 内田 健二



漁海況情報

●海況 第910号
●漁況 第909号

兵庫県立水産試験場

●海況

〔概況〕
気温の低下にともなって播磨灘の水温も下がり、表層から底層まで二十四・四〜二十四・五℃と平年並の値を示している。塩分は、表層や十m層では平年並、底層では平年よりもやや低い値となっている。透明度は、海水の上下混合によって海底付近から表層にもたらされたと考えられる濁り等のため先月に比べ四m以上低くなり、平年よりもやや低い値となっている。灘北部沿岸には小型珪藻が出現しているが、その他の海域の植物プランクトン発生量は少ない。栄養塩類濃度は、窒素、リン、珪酸とも表層から底層まで平年を上回る値となっている。平成九年九月二十六日に大阪管区気象台が発表した近畿地方一カ月予報によれば、向こう一カ月の平均気温、降水量、日照時間は共に平年並になる可能性が大きいことから、今後播磨灘では順調に水温低下が進むものと思われる。

〔水温〕

播磨灘表層の十五点平均値は二十四・五℃、十m層は二十四・四℃、底層は二十四・四℃で平年並の値である。九月中旬の大阪湾西部の十m層では二十五・七℃、紀伊水道北部では二十六・一℃といずれも平年よりもやや高い値であった。

〔透明度〕

播磨灘全体で透明度が低下しており、顕微鏡で観察すると、表層水の中にも動物由来の粒子が多く認められる。九月中旬の大

阪湾西部では三・四m、紀伊水道北部では三・七mと、台風の影響により平年に比べはなはだ低い値を示していた。

〔プランクトン〕

播磨灘では植物プランクトンの発生量は少ない。しかし北部沿岸域には小型珪藻のスケルトンが、また狭い範囲ではあるが家島の北西海域には小型珪藻のタランシオシラがやや多く見られ、西淡町沖には原生動物のメソディニウムによる着色域も見られる。

〔栄養塩〕

播磨灘における栄養塩類濃度は、溶存態窒素六・八〜八・五μgat/l、リン〇・八〜〇・九μgat/l、珪酸二一・一〜二一・五μgat/lと、先月に比べ大幅に増加している。特に珪酸は平年に比べかなり高い値を示している。

●漁況

〔小型底曳網〕

明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漕)では、メイタガレイ、マダコが多く漁獲されている。紀伊水道北部では小エビ類、カマスが多く漁獲されている。

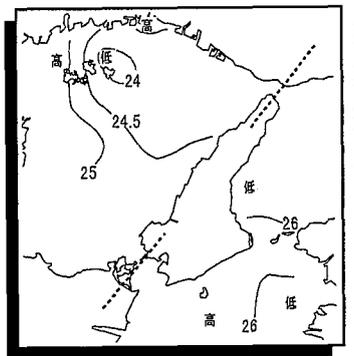
〔一本釣・曳縄釣〕

明石海峡及びその周辺海域では、タチウオ、スズキ、ハマチの漁獲が多い。一方紀伊水道北部では、主としてタチウオ、マルアジが漁獲されている。また福良ではトラフグ縄がはまったが、漁獲は昨年よりは、良い模様である。

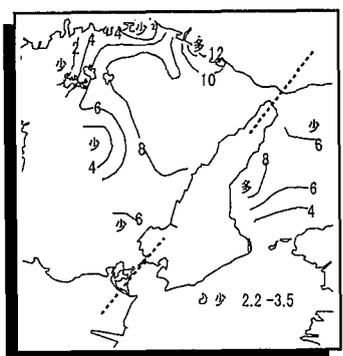
〔カタクチイワシ卵・稚仔〕

卵の出現状況は、播磨灘・紀伊水道北部では、平年を下回った。しかし大阪湾西部では、上回った。稚仔の出現状況は、各海域とも平年を下回った。

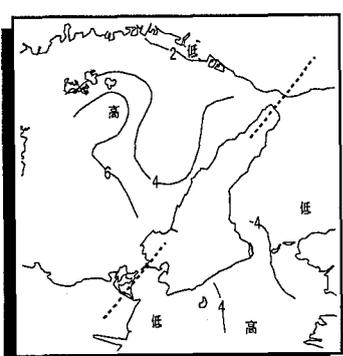
水温(表層水、℃)



窒素濃度(表層水、μgat/l)



透明度(m)



水温、窒素濃度および透明度の水平分布(大阪湾および紀伊水道のデータは平成九年九月十八〜十九日調査分)

九月二十六日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を兵庫県中央労働センターで開催

一、区画漁業権の要望内容について

平成十年九月に区画漁業権が切替えとなるが、漁業権者から変更要望があった漁業権の変更内容について、水産課から説明が行われた。

二、明石海峡大橋の開通に伴う淡路島の水産物流通について
平成十年四月に明石海峡大橋が開通となるが、それに伴って流通面から淡路の漁業に与える影響について、洲本農林水産事務所から説明が行われた。

三、岡山・兵庫
兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会平成十年度の入会協定について
毎年、岡山海区漁業調整委員会と入会協定を結んでいるが、平成十年度の協定内容について、漁業者の要望を関係委員にとりまとめてもらい、十一月の協議会で報告してもらうことに決定した。

四、大阪湾における板びき網漁業の操業時間について
淡路東浦地区小型機船底曳網漁業協議会から要望があった、大阪湾の板びき網漁業の操業時間の変更について協議の結果、この内容で大阪側と調整を図ることで了承された。

五、全国海区漁業調整委員会連

合会西日本ブロック会議における提案議題について
全国海区漁業調整委員会連合会西日本ブロック会議に、他海区から提案された議題に対する回答について協議を行った。

九月二十九日

但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、小型いかつり漁業の許認可取扱方針について
ア 光力規制について
美方郡の要請と但馬沿岸組合連合会の要望が対立し、継続協議となった。

イ 県外船の取扱に関する但馬沿岸組合連合会の要望について
要望項目ごとに水産課から考え方の説明があり、意見交換がなされた。
二、定置・区画漁業権の切替要望について
水産課から当該要望のとりまとめ結果について報告がなされた。

三、兵庫県漁業調整規則第四十五条改正に関する兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会の協議結果について
内海の協議結果としては、存続という方向になったが、これを受けて県としてどう対応していくかについて、関係機関等と色々と協議がなされている旨の報告があった。

海区漁業調整委員会だより

◆材料・分量◆

(ロールキャベツ)
 イワシ…200g、干し椎茸…中2枚、豆腐…1丁、卵…1/2個、キャベツの葉…8枚、塩…大さじ1、生姜汁…小さじ1、玉ねぎ…1/4個、こしょう…少々、小麦粉(キャベツにはたく)…少々、小麦粉+片栗粉…大さじ1強

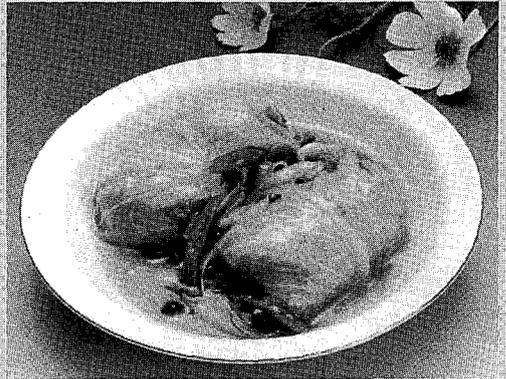
①作り方▲
 イワシは頭をとり手開きにして中骨を取り、包丁で叩いてすり身にする。
 ②豆腐は、半分に切りゆでてふきんで水気を絞り崩しておく。
 ③玉ねぎ、戻した椎茸は、みじん切りにし、生姜汁と①とよく混ぜておく。
 ④②と③をボールに入れ、卵を加えて、小麦粉、片栗粉、塩、こしょうをいれて混ぜ合わせ八等分する。
 ⑤キャベツはゆでて水気を切り、冷まして④をのせて包み、ロールキャベツを作る。
 ⑥しめじは、株をとって分け、人参は千切りにし、サラダ油で炒めておく。
 ⑦三度豆は、塩ゆでして斜めに細く切っておく。
 ⑧鍋に固形スープと椎茸の戻し汁、水を入れ、塩、こしょう、醤油、酒を加えて煮立った中にキャベツを並べ⑥をちらし十五〜二十分煮込む。
 ⑨おろしぎわに片栗粉の水溶きを入れ⑦を加えて出来上がり。
 ▼おいしく仕上げるコツ▲
 鍋はロールキャベツがきっちり並べられる大きさがよい。汁は、分量になるまで煮込む。

(きのこソース)

しめじ…1パック、固形スープ…1個、三度豆(又はきぬさや)…7~8本、人参…40g、椎茸の戻し汁+水…カップ2、酒…大さじ1、塩…小さじ1弱、醤油…小さじ1弱、こしょう…少々、片栗粉…大さじ1、サラダ油…大さじ1/2

①作り方▲
 イワシは頭をとり手開きにして中骨を取り、包丁で叩いてすり身にする。
 ②豆腐は、半分に切りゆでてふきんで水気を絞り崩しておく。
 ③玉ねぎ、戻した椎茸は、みじん切りにし、生姜汁と①とよく混ぜておく。
 ④②と③をボールに入れ、卵を加えて、小麦粉、片栗粉、塩、こしょうをいれて混ぜ合わせ八等分する。
 ⑤キャベツはゆでて水気を切り、冷まして④をのせて包み、ロールキャベツを作る。
 ⑥しめじは、株をとって分け、人参は千切りにし、サラダ油で炒めておく。
 ⑦三度豆は、塩ゆでして斜めに細く切っておく。
 ⑧鍋に固形スープと椎茸の戻し汁、水を入れ、塩、こしょう、醤油、酒を加えて煮立った中にキャベツを並べ⑥をちらし十五〜二十分煮込む。
 ⑨おろしぎわに片栗粉の水溶きを入れ⑦を加えて出来上がり。
 ▼おいしく仕上げるコツ▲
 鍋はロールキャベツがきっちり並べられる大きさがよい。汁は、分量になるまで煮込む。

●イワシのロールキャベツ・きのこソース煮込み●

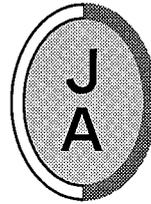


栗井 光子

旬の美味い話 57



兵庫JCC通信
 今、JA・生協では



「生協と行政との連携がすすむ
 “近畿地区生協・行政合同会議”



会議のようす

九月三(四)日(木)、都ホテル大阪で開催された「近畿地区生協・行政合同会議」には、厚生省担当官をはじめ近畿から滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫の六府県の行政・生協連が集まりました。福祉活動の促進、環境問題に果たす役割、日生協二十一世紀ビジョンをめぐる近

畿の生協と展望等について話し合いました。厚生省からは小林信雄氏(社会・援護局地域福祉課生協監査指導官)と、塩野勝明氏(社会・援護局地域福

祉課事務官)の二人に参加いただきました。兵庫県からは、福井消費生活対策室長、橋村担当官が、兵庫県生協連から石井(真)副会長、西田常務、平松次長が出席し、行政と生協連の共同でこの度一年をかけて作成したマニュアル「生協運営の手引」について紹介しました。

滋賀県生協連からは、県民のくらし(消費・環境・福祉・文化)に関する意識と行動の調査報告について、また、京都府生協連からは、行政との連携とCOP三関連のイベント計画について、奈良県生協連からは、県行政との協力した取り組みについて、和歌山県生協連からは県との共同事業について、それぞれ報告がありました。

J A は今年50周年

今年、平成九年は昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法が公布されてから、五十周年にあたる記念すべき年になります。また、今日の農協の発展の基盤となった、明治三十三年の産業組合法が公布されて以来、ちょうど二千年には百周年を迎えることになりました。このJA五十周年を好機に、その意義を考えてみたいと思います。

●五十年はJAの新たな第一歩
 JA五十年は記念すべき座標ではあるが、通過点に過ぎません。「JAの事業を通じて最大限のメリットを提供する」という目的は変わることがないとしても、その事業内容ややり方は時代時代の要請に応じて「変えていく、変わっていく」ことがなくてはなりません。今よりも少しでも良くなるように、常に変革に挑戦しつづける組織風土をつくるのが大切です。

●先人の知恵を生かす
 今日のJAは、経済の規制・保護から規制緩和・自由化の流れなど、社会・経済のシステムが大転換しつつあるなかで、多くの課題が山積

しています。過去、JAの危機のつど「原点に帰れ」とよくいわれてきましたが、いつの時代も「JAの事業・経営の問題を、組合員に問ひかけ、働きかけ、意志の結集をはかる」ことが危機を乗り越える基本的な道筋です。

●輝かしい未来のために
 これからの時代、二十一世紀は今までの価値観とは異なった新しい時代になると多くの識者が指摘しています。「今」を真剣に考え、時代にふさわしいJAに変革していくことがわたしたちの役割だと考えます。



JAグループ兵庫では50周年を記念してマークを作成しました。

ぶらり探訪

布引ハーブ園

神戸市中央区葺合町

新幹線／新神戸駅の駅下をくぐって、布引の滝へのコースをとれば、もう深山に入ったような雰囲気になります。排気ガス充満の街から数分のところに嘘のような別天地の広がりがあって、車の響きがまったく聞こえないのが不思議に思われます。神戸市民の水ガメである貯水池からの流れが、一筋の滝

となって落下していますが、暑い日には汗も瞬時に引く快感に浸れます。そこから少し登れば、世継山の中腹に作られたハーブ園の入口となります。道標も完備しており、まったく迷うことのない散歩道です。スマートな硝子張りの館が、オシャレ感覚で若者の心をとらえ、デートコースとして人気があ

★頑張り期待のハードラー★

写真の主は、山田真利さん。去る八月五日西京極陸上競技場で開催された全国高校総体（インターハイ）において、男子百メートル障害で優勝の栄冠に輝いた洛南高（京都府）

三年の山田真利さんの躍動感あふれる姿です。ご存知の方も多いでしょうが信漁連統合対策課長山田峰人氏の子息であり、平野中学時代には百十メートルJHで十四秒十四（現中



学日本記録）を出した名ハードラー。「秋のなみはや国体では百十メートルHと四百メートルHの二種目を狙っています。百十メートルHでは十四秒〇八の高校記録更新を目標にします」と元気なところを見せてくれました。大いなる活躍を期待し、熱い声援をおくりたい。頑張ってください。



るようです。

ハーブの香りは人によって好き嫌いがありますが、その薬効は様々な実験により証明されています。ローズマリー／ラベンダー／カモミールは不眠症に良く、バジルは精神安定を促し、ジャスミンには自信を持たせるといふ効能が知られています。浴槽に入れたりハーブ茶として飲用にするのも愉しいかも知れません。ゆっくり歩いて香りを楽しむならば、

にするかは園芸家の腕次第でしょうが、山の斜面を上手に生かして使っているのが、下り一方の順路が疲れを感じさせません。花と香りを楽しみながら、ゆっくり歩いて出口へと迎えられるため、高齢者にも受け入れ易い公園と言えます。

硝子の館の中には小川が流れ、熱帯の果樹など珍奇なものを見ることが出来ました。カレーに使うスパイスが色々集めてあり、好みのブレンドが可能で木の実を砕くと、良い香りが鼻を撲つてカレー料理が食べたくになります。柚子や菖蒲の葉湯は古くから利用して来ましたが、新しくミントやラベンダーを使つての入浴も楽しいだろうと思います。小さな袋入りのハーブを売っています。ハーブ園を訪ねて、暮らしたにもっと香りを取り入れたいと思ったのでした。

モメ
新神戸駅↓約十分で布引の滝↓約四十分でハーブ園。入園はAM十時から。大人二百円。北野一丁目からロープウェイあり（別料金）

編集後記

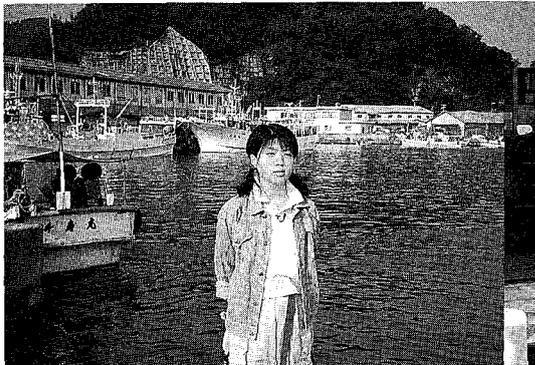
- ◆信漁連の窓口が一つ整備された。漁協の信用事業に弾みが生まれることを願う。厳しい業界に新風を呼び込みたい。隣国との漁業協定破棄決定に大いなる進展を望む。
- ◆北淡四ヶ浦連合会の視察研修は育波浦漁協正司参事からの投稿。長崎県対馬での視察を漁協活性化に役立てて戴きたく諸兄の活躍に期待したい。
- ◆木枯らしの季節。路上に銀杏が黄金色の絨毯を敷きつめる。海苔の本張りが始まれば冬本番。寒さに負けるな…。(遊)

●サンテレビの

あちから海です



漁火ワントン生のみの親・熊本恭乃さんと



秋の諸寄港を満喫のリポーター



材料の魚の三枚おろしから挑戦

カルシュームたっぷり!!練り製品

～兵庫県浜坂町・

香住町より～

'97.9月28日放送
(第1044回)

ロケだより

◆練り製品は、冷凍・冷蔵・乾燥等色々ある水産物の加工品の一つです。練り製品と言われるように、魚肉を練って練って練り上げ独特の弾力性を持たせたものです。一般的にはスケトウダラやサメ・グチ・エソ等が知られていますが、所変われば材料も様々。水産加工のうち練り製品は、各地で旬に沢山獲れる物の保存方法の一つとして発達してきました。今回は魚介類なら何でも可と言う練り製品の手作りに挑戦してみました。

◆下調べとして勉強に寄せて頂いたのは浜坂町諸寄の森甚商店。森甚商店は但馬浜坂に拘る商品を作りたいと言うことで、初夏のトビウオ(アゴ)や旬には大魚の鰹や鰯等の竹輪を主流に製造しています。魚は内臓と大きな骨や皮を取って魚肉だけにし、後は練って練って練るだけといいますが、弾力性を持たせるための塩の入れ時・所謂『塩摺り』の工程が一番ポイントとか、塩の入れ時一つで魚肉が柔らかくも弾力に富んだ良質のものにもなると言う大切な工程なのです。そして澱粉を加え滑らかに練り込むと、後は、蒸したり、焼いたり、揚げたり様々に加工できます。

◆魚肉だけでなくエビのすり身は日本料理の『しんじょう』に。と言うことで、浜坂諸寄の漁協婦人部の方々が味はバツグンだけど鮮度が落ちやすい地元でドロエビと呼ばれるエビと大量に獲れると値段がガククリ下がるスルメイカのすり身をワントンに加工・商品化しました。グループの名前は材料のイカツリ集魚灯の漁火からイメージした『漁火グループ』地元のもので何とか付加価値のついた商品開発をと取り組んだ成果です。現在この『漁火ワ

ントン』は豊岡を中心に展開している『ガンピー』と言うスーパーマーケットの冷凍コーナーで売られています。こうした商品は今まで地方の物産コーナーでしか販売されていませんでしたが、一般の流通機構に乗った数少ない商品の一つです。兵庫県各地に素晴らしい加工商品がありますが、流通が一番のネック。それらを安定した流通に乗せ、安定した供給体制を作ることも魚に付加価値を付ける大きな問題の一つではないでしょうか。

◆最後に手作りの練り製品の作り方を。材料Ⅱ魚肉一キロ・塩三十五グラム・澱粉(馬鈴薯)少ない程魚の味と弾力性が出る)二十〜三十グラム・味醂三十cc(艶と隠し味)・砂糖三十グラム(あくまでも目安で味は好みで加減)道具Ⅱ大きめの摺り鉢・絞るための一キロの魚肉の入るサラシ等の袋・氷(多め)・ザル。魚肉をサク切りし、水で三回ザット洗い、内臓の残り等を取り除く。それを袋でしっかりと水切り、摺り鉢で空摺り(フードカッターを使うと簡単)、ここから練り製品の肝心、練りの工程、五分程しっかり練って塩を先ず十五グラム、塩を入れると粘気が出て段々スリコギが当たりつらくなる、ここで十分練り・残りの塩十五グラムを入れて十分〜三十分(かなりしんどい)そして、水溶きの澱粉・味醂・砂糖で味をつけ氷水を三百cc〜五百cc(塩分濃度二〜三%)入れ滑らかに練り上げて材料完成。これに好みの物を加え焼いて・蒸して・揚げてOKですが一時間程三十程度の温度の中でねかすとより弾力性のあるものが出来ます。作るとはこんなに楽しいものかを実感。我家の味には是非挑戦を?

1997年11月10日発行 通巻 493号
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金

〒652 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 652-3444 定価80円(本体76円)
FAX 671-6685